

北杜市公共施設個別施設計画の策定について

(目的)

本市では、今後の人口減少、少子高齢化や厳しい財政状況を踏まえ、合併前に旧町村が整備した多くの公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、平成28年度に「北杜市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」を策定し、令和3年度（令和4年3月）に改訂を行い、令和33年度までに公共施設の保有量（延床面積）を40パーセント程度縮減する目標を掲げた。

本年度、策定を進めている「北杜市公共施設個別施設計画」は、この目標達成に向け、個別施設ごとの「たたき台」となる方向性を示し、今後、市民、関係者の皆さんと協議を進める中で計画内容の具現化を図ることを目的とする。

(北杜市公共施設個別施設計画策定業務委託)

計画の策定に当たり、公共施設マネジメントに関する専門的知識、経験、公共施設個別施設計画及び公共施設等総合管理計画策定業務の実績を有する次の者に、策定支援の業務を委託している。

- ・委託先：株式会社パスコ山梨支店（甲府市丸の内2-30-2）
- ・委託期間：令和4年6月7日から令和6年3月29日

(令和4年度の会議の内容【北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会】)

- ・第1回（令和5年1月26日）
 - ① 北杜市公共施設等総合管理計画（改訂版）について
 - ② 北杜市公共施設個別施設計画の策定について
- ・第2回（令和5年3月中旬～下旬）
 - ① 施設分類別の最適配置の長期的な方向性について※施設を所管する課における検討、資料の整備に時間を要するため開催延期

(計画策定の流れ)

○対象施設数 361施設（延床面積409,982.87㎡）

施設分類数 47分類

① 施設分類別の縮減量の設定

⇒総合管理計画で目標としている延床面積40パーセント縮減に向け、市が保有すべき施設総量の設定

② 利用圏域を踏まえた施設の配置バランスの検討

⇒施設分類別に、計画期間の満了する令和33年度における施設配置のあるべき姿を検討

- ③ 施設評価の実施（R 4 年度実施済）
- (1) 定量評価（一次評価）
定量情報に基づき、費用対効果（ソフト：財務情報と利用状況）と施設性能（ハード：経過年数と劣化状況）により評価
 - (2) 定性評価（二次評価）
施設所管課へのヒアリング調査を通じ、公共施設の必要性など定性的な評価（必要性・公共性、公平性・有効性・施設の機能性、将来性・代替性）
 - (3) 立地状況評価（三次評価）
公共施設の立地の安全性、公共交通の利便性、サービス供給量により評価
 - (4) 総合評価
定量評価（一次評価）、定性評価（二次評価）、立地状況評価（三次評価）に基づき、施設ごとの方向性を総合的に評価
- ④ 令和 3 3 年度（2 8 年先）における公共施設の最適配置の方向性の決定
今後の個別施設の方向性を決定
（維持、統廃合、集約、複合化、移転、廃止、検討）
- ⑤ 個別施設の対策における優先順位の決定
今後も維持する施設を対象に、対策の優先順位を決定
- ⑥ 個別施設の対策内容、実施時期、対策費用の設定
今後も維持する施設の対策内容（改修、更新）、実施時期、費用の算出
- ⑦ ロードマップの作成
計画期間（令和 3 3 年度まで）における個別施設ごとの方向性を決定
- ⑧ パブリックコメントの実施（R 5. 1 2～R 6. 1）
- ⑨ 計画策定（R 6. 3）